

函館市子どもの生活実態調査結果報告書【概要版】

調査の概要

1 目的

本市の子どもの貧困の実態について把握し、子どもの貧困対策等に係る施策展開のための基礎資料とするため、函館市子どもの生活実態調査を実施しました。

2 調査対象

- ・保護者：5歳，小学5年生，中学2年生，高校2年生
- ・子ども：小学5年生，中学2年生，高校2年生

3 調査方法

- ・無記名によるアンケート方式
- ・5歳，高校2年生は郵送による配布・回収
- ・小学5年生，中学2年生は教育委員会（各学校）を通じて配布・回収

4 実施時期

- ・郵送配布・回収（5歳，高校2年生）：平成29年8月上旬～8月27日（日）
- ・学校配布・回収（小学5年生，中学2年生）：平成29年8月下旬～9月19日（火）

5 調査票の回収状況

調査対象		配布件数 (件)	有効回答数 (件)	有効回答票数 (%)	マッチング数 (件)	マッチング率 (%)
5歳	保護者	1,000	507	50.7	-	-
	子ども	1,008	785	77.9	775	99.4
小学5年生	保護者	1,008	780	77.4		
	子ども	1,027	797	77.6	769	95.3
中学2年生	保護者	1,027	807	78.6		
	子ども	1,000	315	31.5	311	98.7
高校2年生	保護者	1,000	315	31.5		
	合計	保護者	4,035	2,404	59.6	1,855
子ども		3,035	1,902	62.7		
		7,070	4,306	60.9		

（注）本報告書において、「マッチング数」とは、「保護者の調査票」と「子どもの調査票」について、同一世帯の情報として集計が可能となった数をいい、「マッチング率」とは、子どもの有効回答数でマッチング数を除した割合をいいます。

6 集計方法等

- ・結果数値（%）は小数第2位を四捨五入して表示しているため、内数の計が合計に一致しない場合があります。
- ・集計上、未記入等不明分を除いた回収数を記載しています。
- ・一部の項目については、マッチング数に基づき集計しているため、学年別に全体を集計した表の合計値と、家族形態別・年収階層別の表の合計値が一致しないものがあります。
- ・複数回答の項目における割合（%）については、対象回答者数を分母として集計しています。

調査結果

1 調査世帯の状況

(1) 世帯の状況

家族形態

家族形態では、「両親世帯」が65.3%、「祖父母同居の両親世帯」が9.0%、「母子世帯」が13.2%、「祖父母同居の母子世帯」が5.5%などとなっています。

(単位:人,%)

区分	両親世帯	祖父母同居の両親世帯	母子世帯	祖父母同居の母子世帯	父子世帯	祖父母同居の父子世帯	その他	無回答	合計
5歳	366 72.2%	50 9.9%	35 6.9%	30 5.9%	1 0.2%	0 0.0%	4 0.8%	21 4.1%	507 100%
小学	498 63.4%	68 8.7%	113 14.4%	44 5.6%	6 0.8%	8 1.0%	3 0.4%	45 5.7%	785 100%
5年生	507 63.6%	80 10.0%	110 13.8%	44 5.5%	7 0.9%	8 1.0%	1 0.1%	40 5.0%	797 100%
中学	199 63.2%	19 6.0%	59 18.7%	15 4.8%	6 1.9%	2 0.6%	5 1.6%	10 3.2%	315 100%
2年生	1,570 65.3%	217 9.0%	317 13.2%	133 5.5%	20 0.8%	18 0.7%	13 0.5%	116 4.8%	2,404 100%

生計が同じ家族のうち、子どもの人数

家族のうち子どもの数では、「2人」が最も多く50.6%、次に「1人」が22.3%、「3人」が21.3%となっています。

(単位:人,%)

区分	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	合計
5歳	132 26.0%	278 54.8%	81 16.0%	11 2.2%	5 1.0%	0 0.0%	507 100%
小学	156 19.9%	393 50.1%	184 23.4%	40 5.1%	10 1.3%	2 0.3%	785 100%
5年生	155 19.4%	384 48.2%	195 24.5%	48 6.0%	10 1.3%	5 0.6%	797 100%
中学	94 29.8%	161 51.1%	51 16.2%	9 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	315 100%
2年生	537 22.3%	1,216 50.6%	511 21.3%	108 4.5%	25 1.0%	7 0.3%	2,404 100%

家族の年収

家族の年収は、全体では「500万円以上700万円未満」が21.7%と最も高い割合となっています。

(単位:人,%)

区分	100万円未満	100~200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400~500万円未満	500~700万円未満	700~1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	合計
5歳	12 2.4%	41 8.1%	57 11.2%	94 18.5%	63 12.4%	122 24.1%	55 10.8%	32 6.3%	31 6.1%	507 100%
小学	25 3.2%	68 8.7%	107 13.6%	109 13.9%	109 13.9%	168 21.4%	105 13.4%	45 5.7%	49 6.2%	785 100%
5年生	27 3.4%	69 8.7%	93 11.7%	129 16.2%	97 12.2%	175 22.0%	116 14.6%	35 4.4%	56 7.0%	797 100%
中学	14 4.4%	34 10.8%	41 13.0%	47 14.9%	40 12.7%	57 18.1%	46 14.6%	20 6.3%	16 5.1%	315 100%
2年生	78 3.2%	212 8.8%	298 12.4%	379 15.8%	309 12.9%	522 21.7%	322 13.4%	132 5.5%	152 6.3%	2,404 100%

(2) 健康状態

保護者の健康状態等

保護者の健康状態は、全体では「健康」が78.2%、「通院中」が15.8%などとなっています。

区分	複数回答 (単位:人,%)							
	健康	通院中	入院中	通院はない が体調が 悪い	障がいあり (難病を 除く)	難病指定 あり	その他	合計
5歳	426 84.0%	56 11.0%	0 0.0%	23 4.5%	4 0.8%	2 0.4%	2 0.4%	513 -
小学 5年生	621 79.1%	128 16.3%	0 0.0%	29 3.7%	7 0.9%	6 0.8%	4 0.5%	795 -
中学 2年生	617 77.4%	132 16.6%	0 0.0%	41 5.1%	4 0.5%	6 0.8%	5 0.6%	805 -
高校 2年生	217 68.9%	64 20.3%	1 0.3%	30 9.5%	3 1.0%	3 1.0%	3 1.0%	321 -
合計	1,881 78.2%	380 15.8%	1 0.0%	123 5.1%	18 0.7%	17 0.7%	14 0.6%	2,434 -

2 子どもの教育

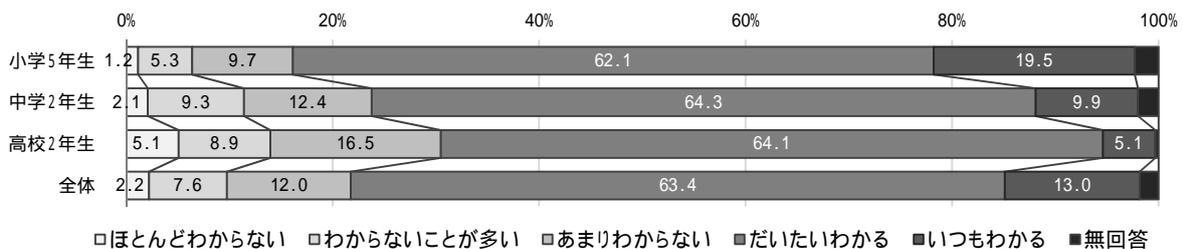
(1) 学校での教育について

学校の授業でわからないことがあるか

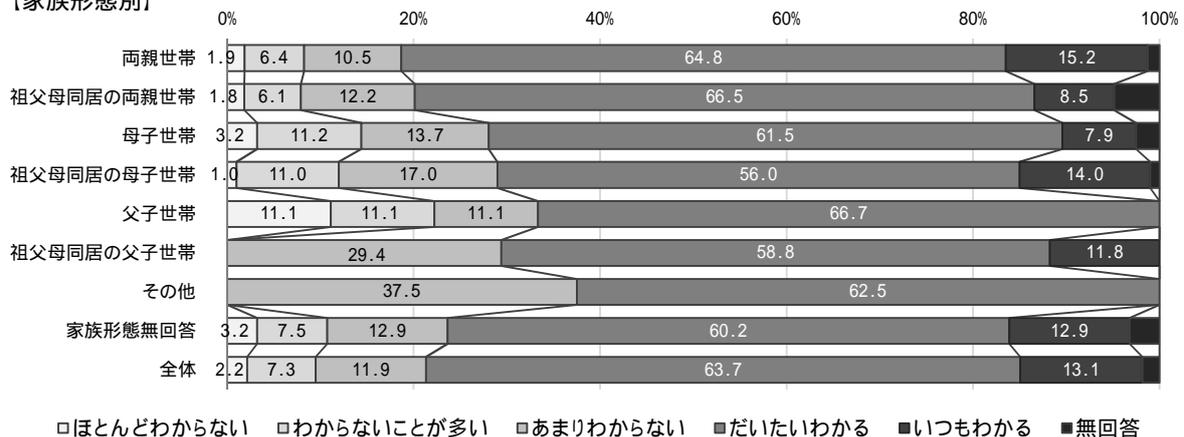
学校の授業の理解度に関する自己評価では、「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」とする回答は、合わせて21.8%となっていますが、学年が上がるに従ってその割合は高くなっています。

家族形態別では、「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」とする回答は、父子世帯が33.3%、母子世帯が28.1%となっています。

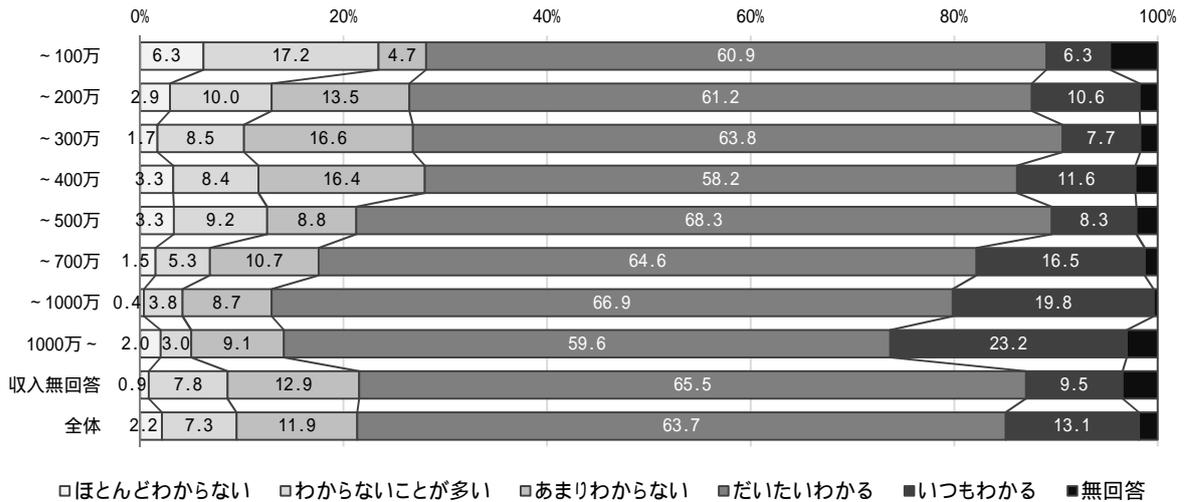
年収階層別では、年収100万円未満の階層で「いつもわかる」と回答した割合が一番低く、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した割合が一番高くなっています。



【家族形態別】



【年収階層別】



(2) 家庭での教育について

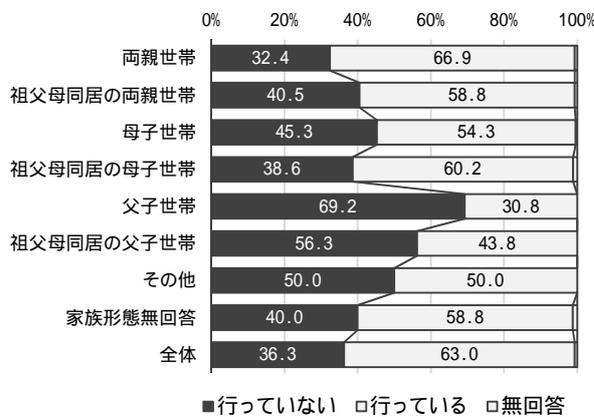
塾や習い事に行っているか (小学5年生・中学2年生の保護者の回答)

塾や習い事は、全体で「行っている」が63.0%、「行っていない」が36.3%となっています。
 家族形態別では、「行っていない」は、両親世帯が32.4%に対し、母子世帯が45.3%、父子世帯が69.2%となっており、ひとり親世帯が高くなっています。
 年収階層別では、年収400万円未満の階層で「行っていない」と回答した割合が高い傾向にあります。

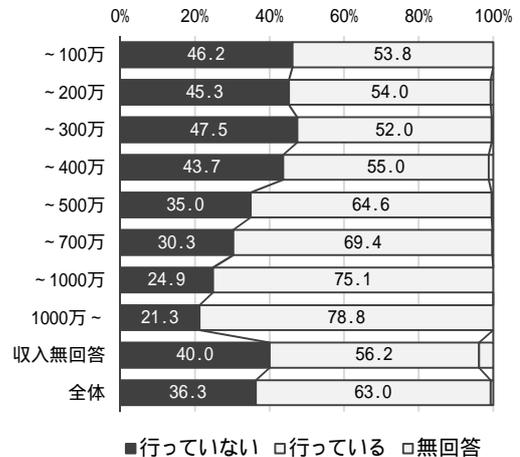
(単位:人,%)

区分	行っている	行っていない	無回答	合計
小学5年生	533 67.9%	246 31.3%	6 0.8%	785 100%
中学2年生	463 58.1%	329 41.3%	5 0.6%	797 100%
合計	996 63.0%	575 36.3%	11 0.7%	1,582 100%

【家族形態別】



【年収階層別】



(3) 大学進学等について

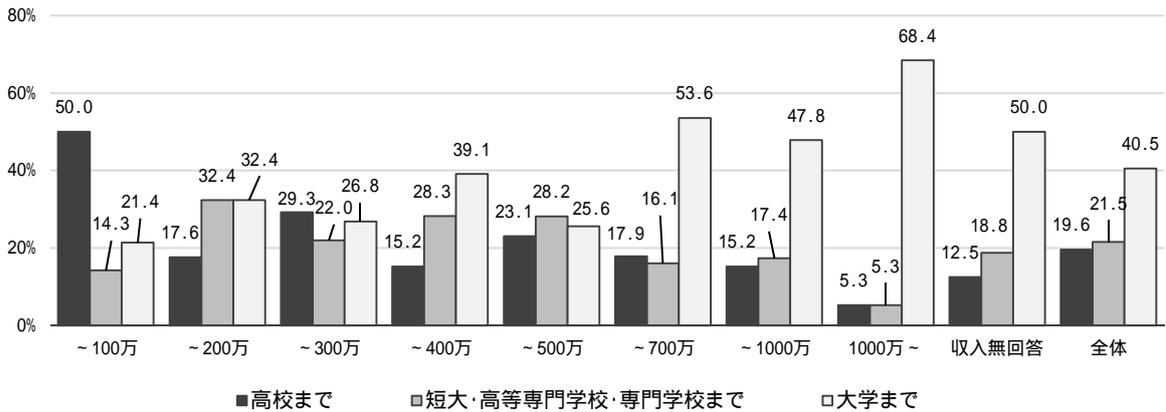
あなたは将来、どの段階まで進学したいか（高校2年生本人の回答）

子どもが考える自分の進路は、「高校まで」が19.7%、「大学まで」が40.3%となっています。
 年収階層別では、年収が下がると「高校まで」の割合が高くなり、「大学まで」の割合が低い傾向にあります。

(単位:人,%)

区分	高校まで	短大・高等専門学校・専門学校まで	大学まで	大学院まで	まだわからない	その他	無回答	合計
高校2年生	62 19.7%	68 21.6%	127 40.3%	1 0.3%	51 16.2%	3 1.0%	3 1.0%	315 100%

【年収階層別】



高校卒業後の進路についてどう考えるか（高校2年生の保護者の回答）

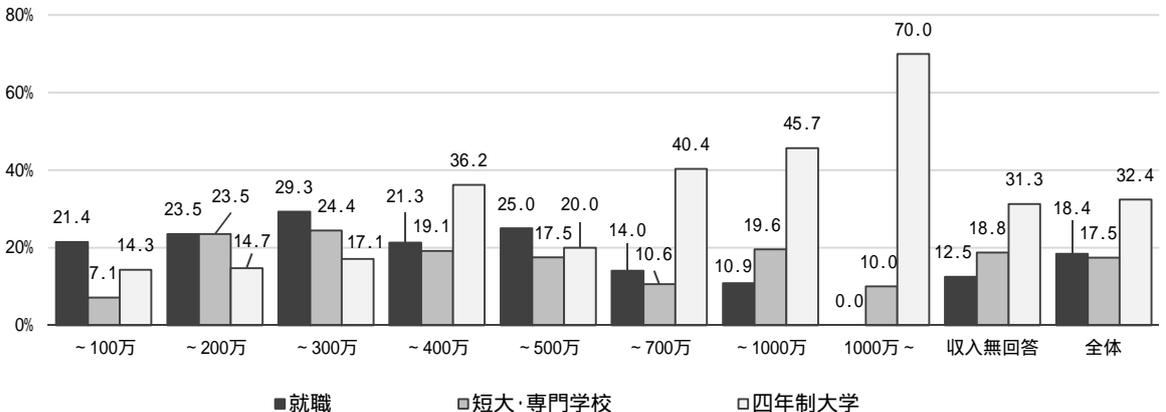
高校2年生の保護者に聞いた高校卒業後の進路は、全体では「就職」が18.4%、「四年制大学」が32.4%となっています。

年収階層別では、年収500万円未満の階層で「就職」と回答した割合が高く、「四年制大学」と回答した割合が低い傾向にあります。

(単位:人,%)

区分	就職	短大	専門学校	四年制大学	まだわからない	その他	無回答	合計
高校2年生	58 18.4%	15 4.8%	40 12.7%	102 32.4%	90 28.6%	6 1.9%	4 1.3%	315 100%

【年収階層別】



高校までと答えた方はその理由（高校2年生本人の回答）

希望する進学先を「高校まで」とした理由として「進学に必要なお金のことが心配だから」に、「まああてはまる」「非常にあてはまる」と回答した割合は、全体で35.4%となっており、「きょうだいの進学にお金がかかるから」と「親や家族の面倒を見なければならないから」よりも高い割合となっています。

(単位:人,%)

区分	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	まああてはまる	非常にあてはまる	無回答	合計
進学に必要なお金のことが心配だから	18	11	10	11	11	1	62
高校2年生	29.0%	17.7%	16.1%	17.7%	17.7%	1.6%	100%
きょうだいの進学にお金がかかるから	34	10	7	6	4	1	62
高校2年生	54.8%	16.1%	11.3%	9.7%	6.5%	1.6%	100%
親や家族の面倒を見なければならないから	39	6	11	4	1	1	62
高校2年生	62.9%	9.7%	17.7%	6.5%	1.6%	1.6%	100%

教育を受けさせるためのお金の準備状況（小学5年生・中学2年生の保護者の回答）

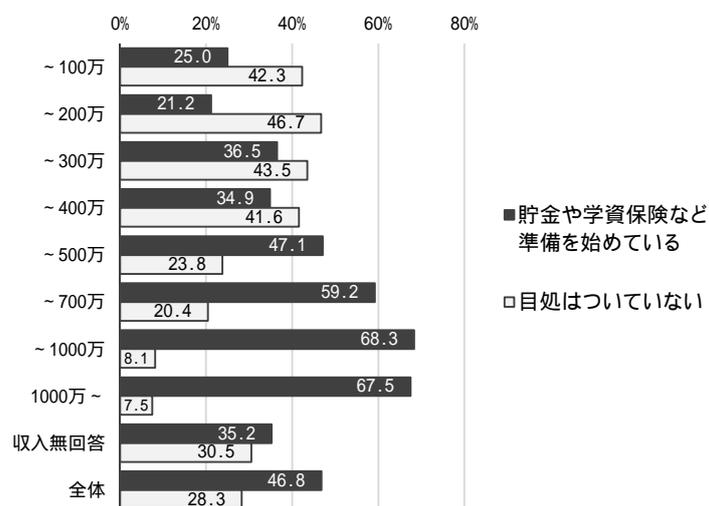
教育費の準備状況は、全体では「貯金や学資保険など準備を始めている」が46.8%、「目処はついていない」が28.3%となっています。

年収階層別では、年収が上がると「貯金や学資保険など準備を始めている」の割合が高く、年収が下がると、「目処はついていない」の割合が高い傾向にあります。

(単位:人,%)

区分	すでに準備できている	貯金や学資保険など準備を始めている	奨学金を利用する	目処はついていない	その他	無回答	合計
小学5年生	24	395	116	233	2	15	785
小学5年生	3.1%	50.3%	14.8%	29.7%	0.3%	1.9%	100%
中学2年生	43	345	169	214	5	21	797
中学2年生	5.4%	43.3%	21.2%	26.9%	0.6%	2.6%	100%
合計	67	740	285	447	7	36	1,582
合計	4.2%	46.8%	18.0%	28.3%	0.4%	2.3%	100%

[年収階層別]



高校卒業後の進学にかかるお金の準備状況（高校2年生の保護者の回答）

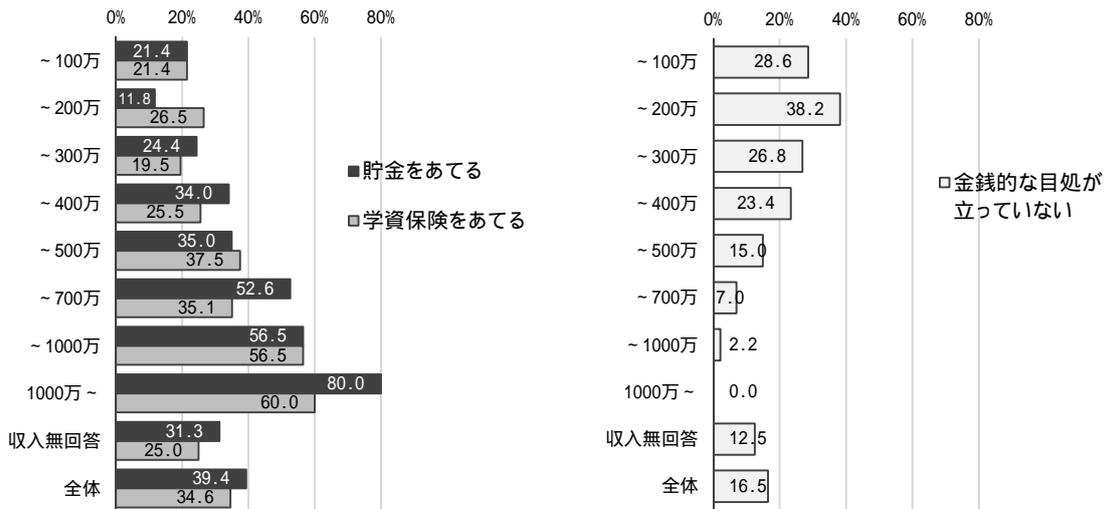
高校卒業後の進学にかかる教育費の準備状況は、「奨学金を利用する」が55.9%、「貯金をあてる」が39.4%、「学資保険をあてる」が34.6%、「目処が立っていない」が16.5%となっています。

年収階層別では、年収が上がると「貯金をあてる」や「学資保険をあてる」の割合が高く、年収が下がると、「目処が立っていない」の割合が高い傾向にあります。

複数回答（単位：人、%）

区分	貯金をあてる	学資保険をあてる	奨学金を利用する	教育ローンを利用する	生活福祉資金・母子父子寡婦福祉資金	親せき等からの援助	子ども本人のアルバイト	金銭的な目処が立っていない	その他	合計
高校2年生	124 39.4%	109 34.6%	176 55.9%	66 21.0%	12 3.8%	5 1.6%	54 17.1%	52 16.5%	5 1.6%	603 -

【年収階層別】（複数回答）

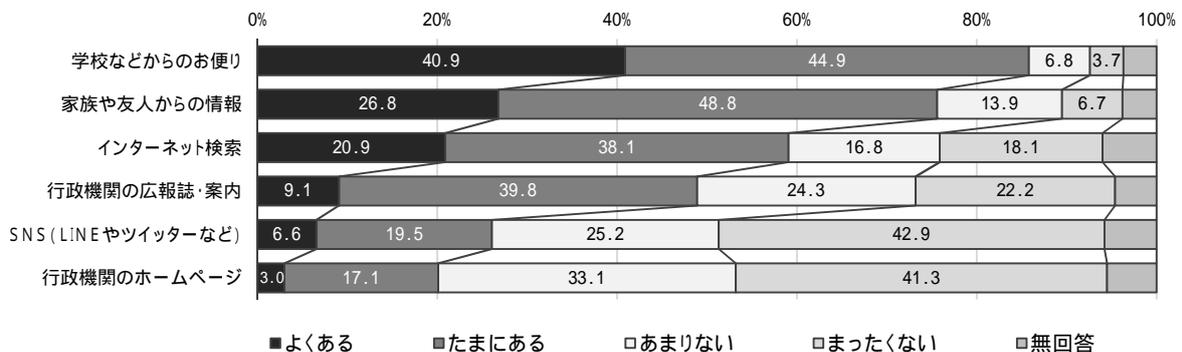


3 生活状況

(1) 保護者（世帯）への生活支援について

子どもに関する施策の情報を得るための手段

子どもに関する施策等の情報入手手段では、「たまにある」「よくある」を合わせた割合が高いものから順に、「学校などからのお便り」が85.8%、「家族や友人からの情報」が75.6%、「インターネット検索」が59.0%、「行政機関の広報誌・案内」が48.9%、「SNS（LINEやツイッターなど）」が26.1%、「行政機関のホームページ」が20.1%となっています。



(2) 子どもの生活状況について

平日は毎日朝ご飯を食べるか

平日の朝食は、「いつも食べない」「食べない日がよくある」「たまに食べない日がある」が合わせて17.1%であり、学年が上がるとその割合は高くなっています。

(単位:人,%)

区分	毎日食べる	たまに食べない日がある	食べない日がよくある	いつも食べない	無回答	合計
小学	645	89	25	11	10	780
5年生	82.7%	11.4%	3.2%	1.4%	1.3%	100%
中学	660	95	28	21	3	807
2年生	81.8%	11.8%	3.5%	2.6%	0.4%	100%
高校	258	32	12	12	1	315
2年生	81.9%	10.2%	3.8%	3.8%	0.3%	100%
合計	1,563	216	65	44	14	1,902
	82.2%	11.4%	3.4%	2.3%	0.7%	100%

平日に夕食を誰ととるか

平日の夕食をともにする相手は、全体では「親」が89.9%、「一人で食べる」が9.8%となっています。家族形態別では、「一人で食べる」とする割合が、両親世帯で低い傾向にあります。

複数回答 (単位:人,%)

区分	親	きょうだい	その他の家族	家族以外の人	一人で食べる	合計
小学	706	516	190	15	27	1,454
5年生	90.5%	66.2%	24.4%	1.9%	3.5%	-
中学	721	474	137	11	129	1,472
2年生	89.3%	58.7%	17.0%	1.4%	16.0%	-
合計	1,427	990	327	26	156	2,926
	89.9%	62.4%	20.6%	1.6%	9.8%	-

区分(下欄:家族形態)	親	きょうだい	その他の家族	家族以外の人	一人で食べる	合計
両親世帯	905	647	119	15	85	1,771
	92.3%	66.0%	12.1%	1.5%	8.7%	-
祖父母同居の両親世帯	127	101	79	1	20	328
	87.6%	69.7%	54.5%	0.7%	13.8%	-
母子世帯	191	133	51	7	22	404
	87.2%	60.7%	23.3%	3.2%	10.0%	-
祖父母同居の母子世帯	64	28	47	2	13	154
	75.3%	32.9%	55.3%	2.4%	15.3%	-
父子世帯	9	4	4	0	3	20
	75.0%	33.3%	33.3%	0.0%	25.0%	-
祖父母同居の父子世帯	14	6	10	0	0	30
	93.3%	40.0%	66.7%	0.0%	0.0%	-
その他	3	2	0	0	0	5
	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
家族形態	77	47	13	0	5	142
無回答	92.8%	56.6%	15.7%	0.0%	6.0%	-
合計	1,390	968	323	25	148	2,854
	90.0%	62.7%	20.9%	1.6%	9.6%	-

平日の放課後は誰と過ごすことが多いか

平日の放課後の過ごし方は、「一人である」ことが「よくある」と回答した割合は、小学5年生が11.3%、中学2年生が16.4%、高校2年生が56.2%となっています。

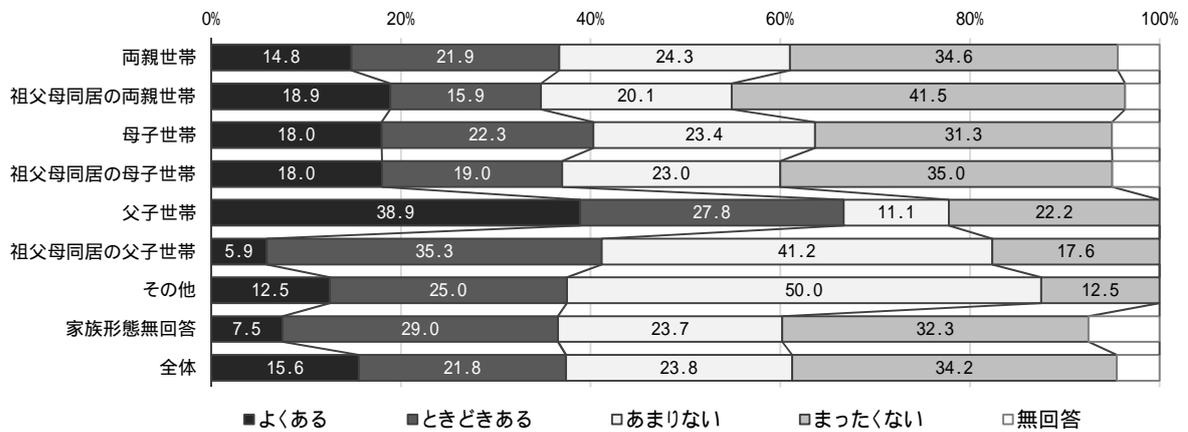
家族形態別では、「一人である」について「ときどきある」「よくある」と回答した割合は、母子世帯が40.3%、父子世帯が66.7%となっています。

【「一人である」頻度】

(単位:人,%)

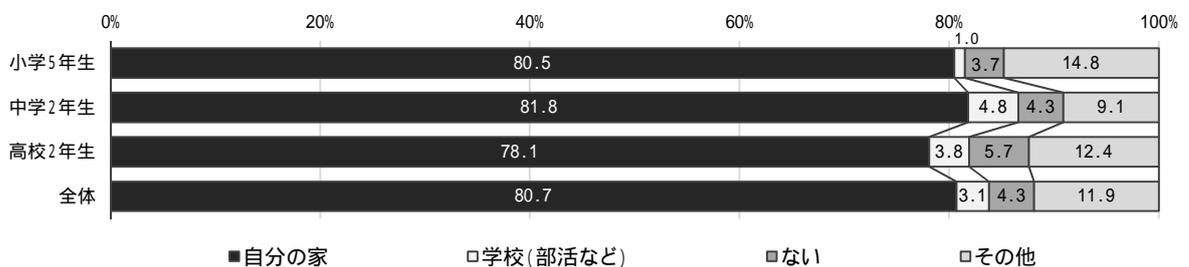
区分	まったく ない	あまり ない	ときどき ある	よくある	無回答	合計
小学 5年生	327 41.9%	204 26.2%	141 18.1%	88 11.3%	20 2.6%	780 100%
中学 2年生	249 30.9%	191 23.7%	181 22.4%	132 16.4%	54 6.7%	807 100%
高校 2年生	32 10.2%	30 9.5%	61 19.4%	177 56.2%	15 4.8%	315 100%
合計	608 32.0%	425 22.3%	383 20.1%	397 20.9%	89 4.7%	1,902 100%

【家族形態別「一人である」頻度】



一番ほっとできる場所はどこか

一番ほっとできる場所は、「自分の家」が80.7%と最も高くなっていますが、「ない」とする回答も4.3%となっています。



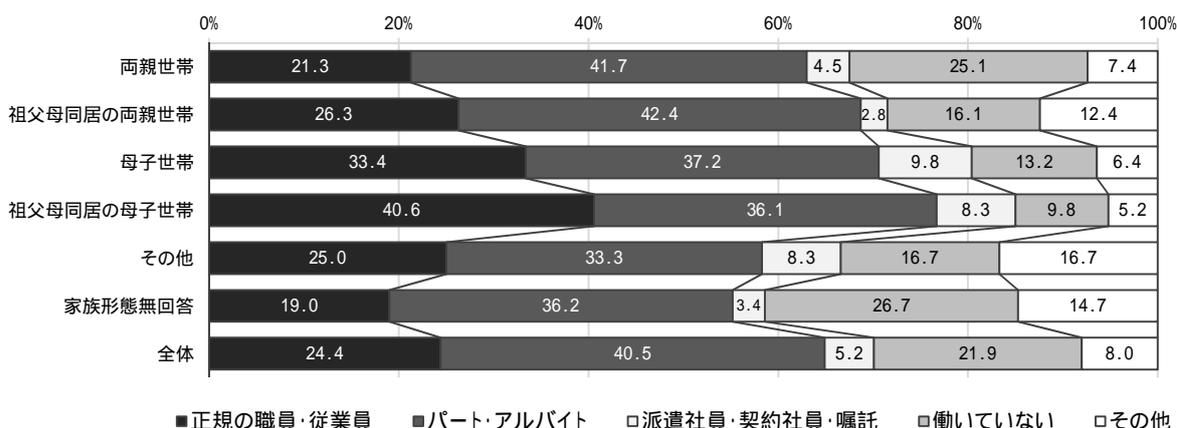
4 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況について

母親の働き方

母親の働き方は、全体では「正規の職員・従業員」が 24.4%、「パート・アルバイト」が 40.5%、「働いていない」が 21.9%となっています。

家族形態別では、両親世帯は、「正規の職員・従業員」が 21.3%、「パート・アルバイト」が 41.7%、「働いていない」が 25.1%となっており、母子世帯は「正規の職員・従業員」が 33.4%、「パート・アルバイト」が 37.2%、「働いていない」が 13.2%となっています。

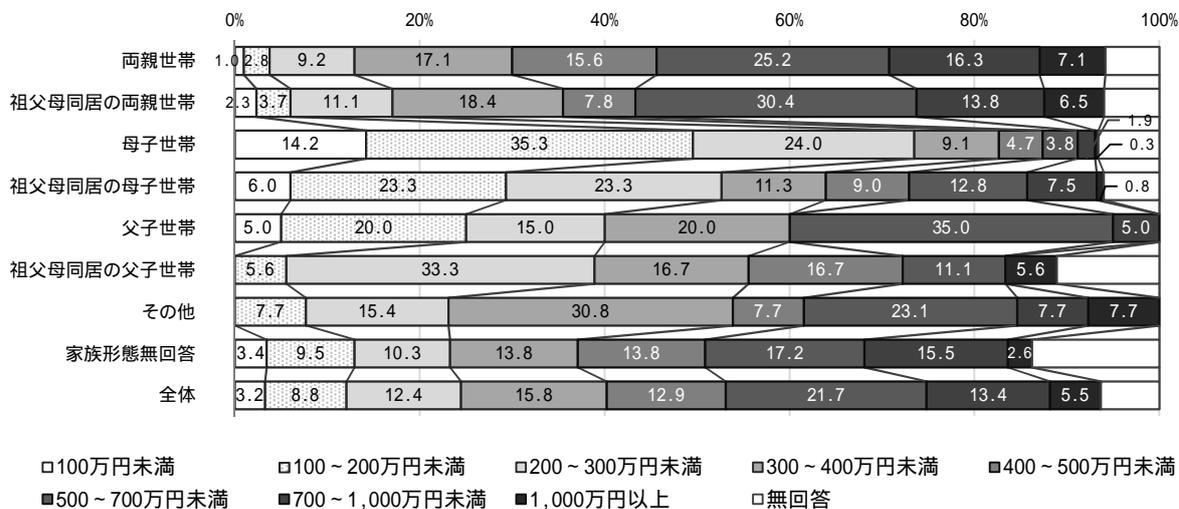


(2) 家族の年収について

家族の年収（一部再掲）

家族の年収は、全体では「500万円以上 700万円未満」が 21.7%と最も高い割合となっています。

家族形態別では、両親世帯は「500万円以上 700万円未満」が 25.2%と最も高く、次に「300万円以上 400万円未満」が 17.1%となっています。また、母子世帯は、「100万円以上 200万円未満」が 35.3%と最も高く、次に「200万円以上 300万円未満」が 24.0%となっており、年収 300万円未満は、合わせて 73.5%となっています。



5 経済状況

(1) 家計の状況について

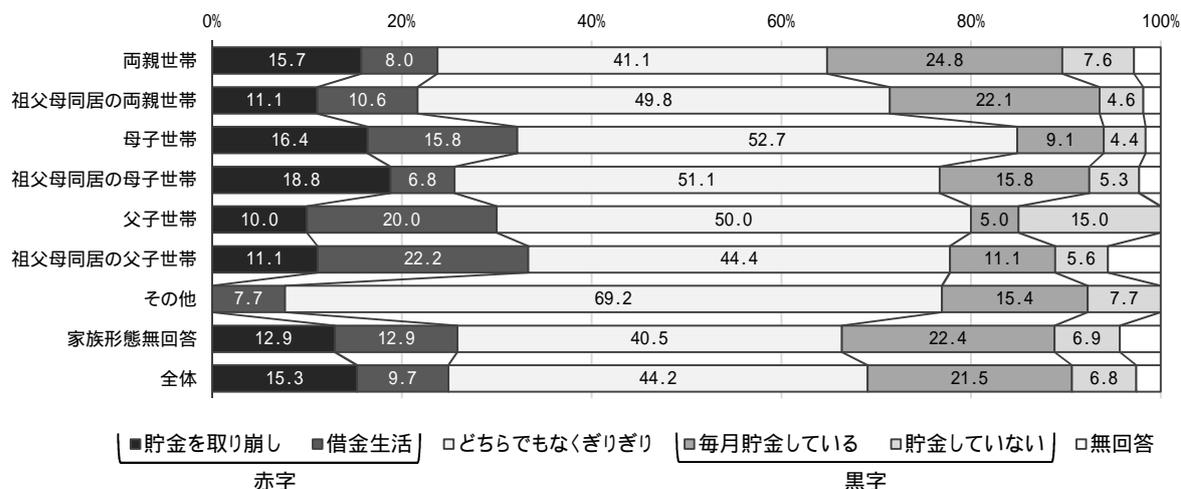
普段の家計について、最も近いもの

普段の家計は、全体では「赤字」が24.9%、「どちらでもなくぎりぎり」が44.2%となっています。

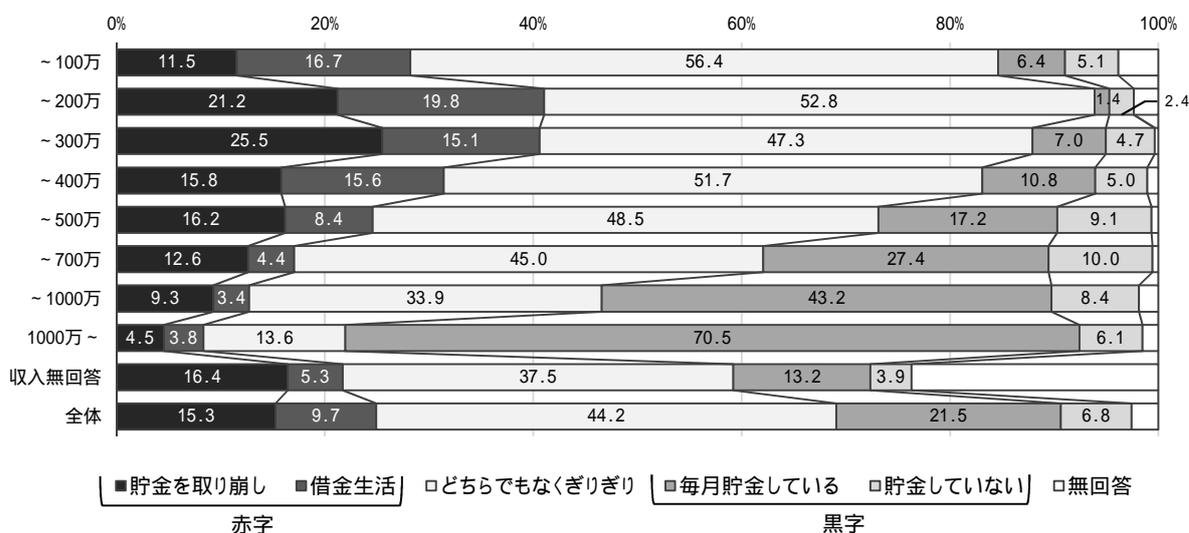
家族形態別では、両親世帯は「赤字」が23.8%、「どちらでもなくぎりぎり」が41.1%、母子世帯では、「赤字」が32.2%、「どちらでもなくぎりぎり」が52.7%、祖父母同居の母子世帯では「赤字」が25.6%、「どちらでもなくぎりぎり」が51.1%となっています。

年収階層別では、年収400万円未満の階層で「赤字」と回答した割合が高くなっており、「借金生活」と回答した割合も高くなっていきます。

[家族形態別]



[年収階層別]

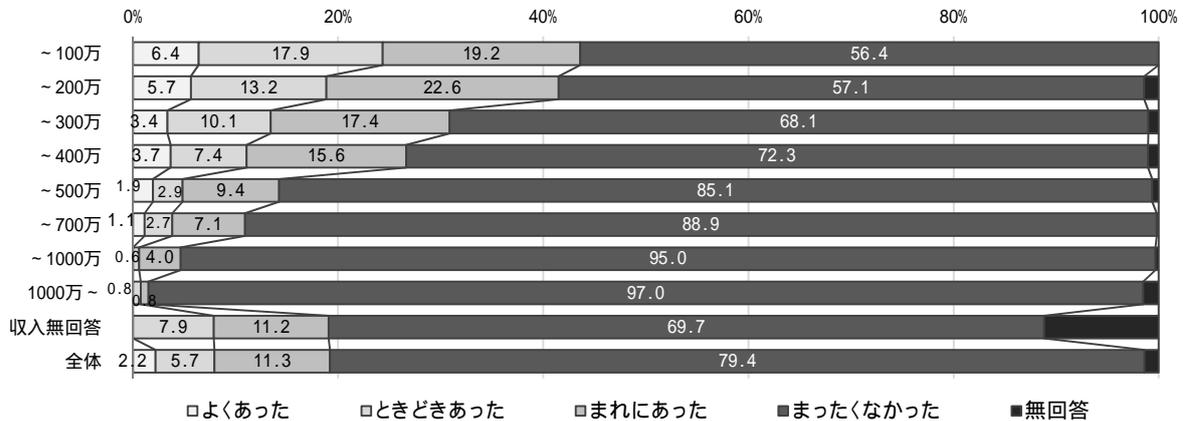


経済的理由で食料を買えなかったり、暖房が使えなかったりした経験

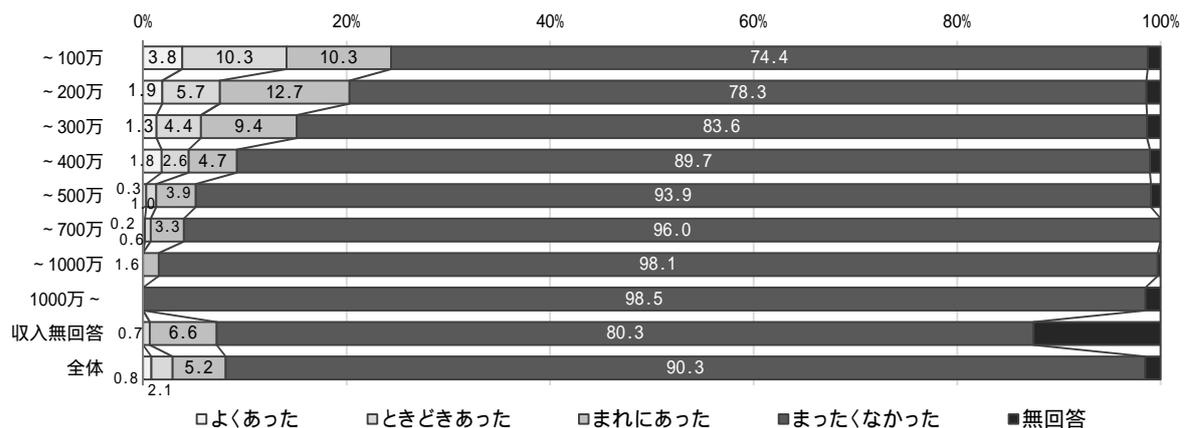
経済的理由で食料を買えなかった経験は、全体では「よくあった」が2.2%、「ときどきあった」が5.7%、「まれにあった」が11.3%となっており、暖房が使えなかった経験は、全体では「よくあった」が0.8%、「ときどきあった」が2.1%、「まれにあった」が5.2%となっています。

年収階層別では、年収400万円未満の階層で「よくあった」「ときどきあった」と回答した割合が高くなっています。

【経済的理由で食料を買えなかった経験】



【暖房が使えなかった経験】

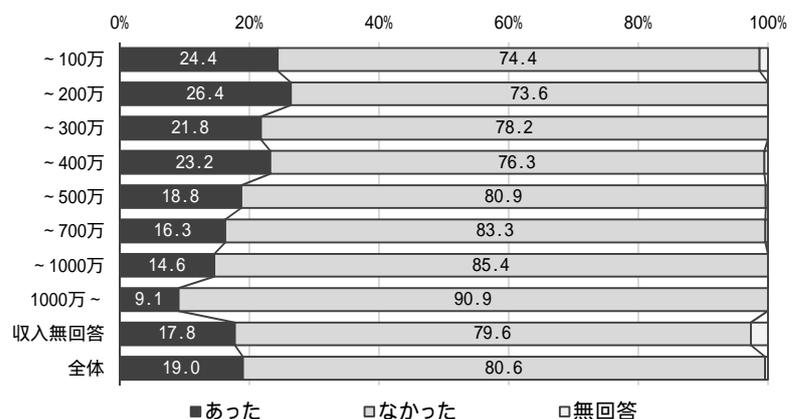


(2) 医療機関への受診について

病院等を受診した方が良かったが受診させなかった経験（過去1年間）

子どもを受診させなかった経験は、全体では「あった」が19.0%となっています。

年収階層別では、年収が下がると「あった」と回答した割合が高い傾向にあります。



子どもを受診させなかった理由

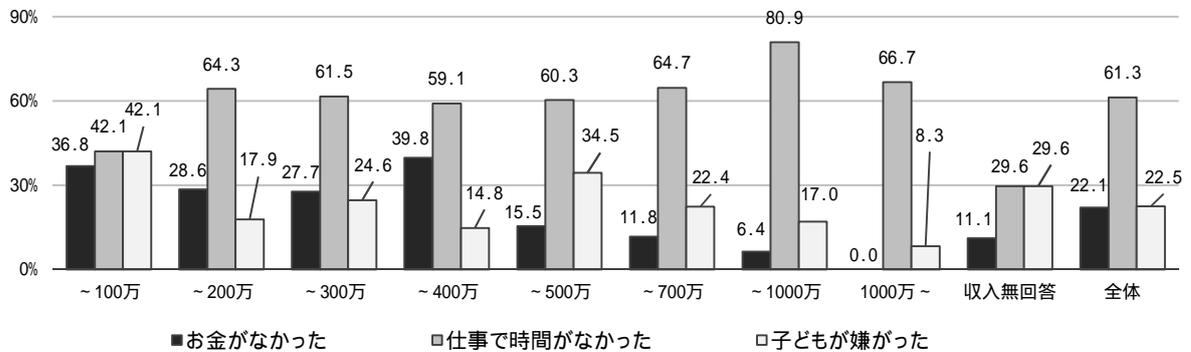
子どもを受診させなかった理由は、「仕事で時間がなかった」が61.3%、「子どもが嫌がった」が22.5%、「お金がなかった」が22.1%となっています。また、5歳、小学5年生では、「他の子どもの世話で時間がなかった」と回答した割合も高くなっています。

年収階層別では、年収が下がると「お金がなかった」と回答した割合が高くなっています。

複数回答 (単位:人,%)

区分	お金がなかった	保険証がなかった	仕事で時間がなかった	他の子どもの世話で時間がなかった	自分の健康状況が悪かった	病院が遠い	子どもが嫌がった	その他	合計
5歳	23 27.4%	0 0.0%	59 70.2%	12 14.3%	3 3.6%	3 3.6%	16 19.0%	8 9.5%	124 -
小学5年生	28 18.1%	0 0.0%	102 65.8%	26 16.8%	6 3.9%	3 1.9%	32 20.6%	15 9.7%	212 -
中学2年生	36 20.7%	2 1.1%	100 57.5%	16 9.2%	4 2.3%	6 3.4%	43 24.7%	28 16.1%	235 -
高校2年生	14 31.8%	0 0.0%	19 43.2%	2 4.5%	2 4.5%	1 2.3%	12 27.3%	5 11.4%	55 -
合計	101 22.1%	2 0.4%	280 61.3%	56 12.3%	15 3.3%	13 2.8%	103 22.5%	56 12.3%	626 -

【年収階層別】(複数回答)



6 相談の状況

子どもについての悩み

子どもに関する悩みは、5歳では「子どものしつけ」が45.0%と最も多く、小学5年生、中学2年生、高校2年生では「子どもの学習や進路」が49.0%と最も多くなっています。

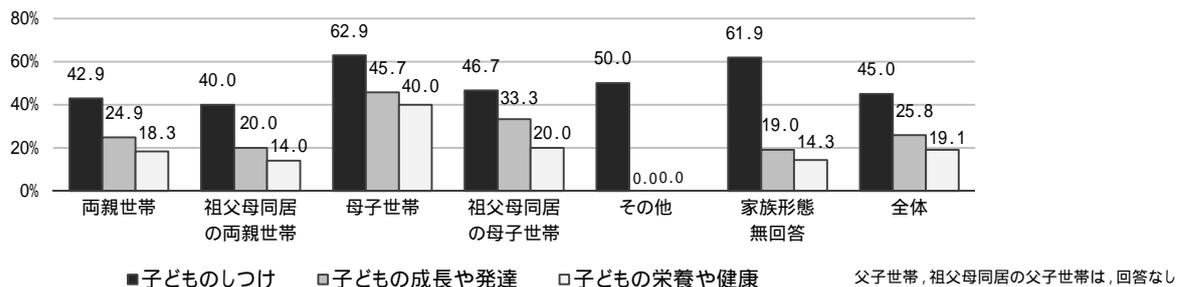
家族形態別では、小学5年生、中学2年生、高校2年生の祖父母同居を含めたひとり親世帯では、「子どもとの話し合い等の時間がもてない」と回答した割合が両親世帯に比べて高くなっています。

【5歳】(複数回答)

複数回答 (単位:人,%)

区分	子どもの栄養や健康	子どもの成長や発達	子どものしつけ	その他	とくに悩みはない	合計
5歳	97 19.1%	131 25.8%	228 45.0%	17 3.4%	201 39.6%	674 -

【5歳 家族形態別】(複数回答)

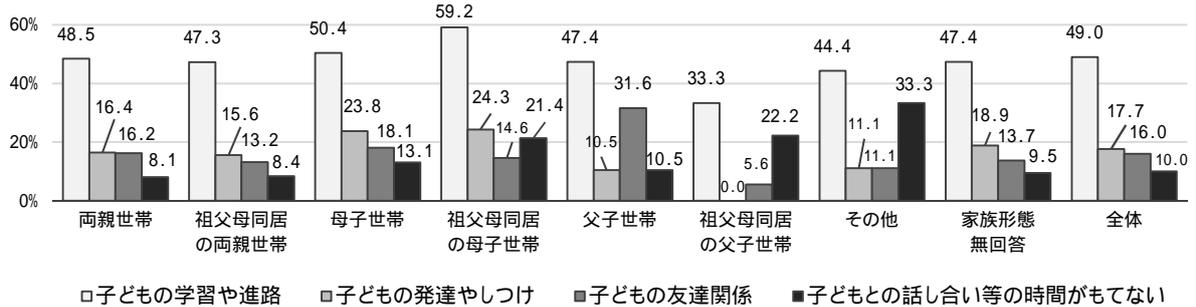


【小5・中2・高2】(複数回答)

複数回答 (単位:人,%)

区分	子どもの話し合い等の時間がもてない	親子関係	子どもの病気や障がい	子どもの発達やしつけ	学校の先生との関係	子どもの友達関係	子どもの学習や進路	子どもの不登校やひきこもり	いじめ	子どもの非行や不良行為	子どもの就職	その他	とくに悩みはない	合計
小学5年生	93	63	54	212	45	165	323	20	24	11	43	16	244	1,313
	11.8%	8.0%	6.9%	27.0%	5.7%	21.0%	41.1%	2.5%	3.1%	1.4%	5.5%	2.0%	31.1%	-
中学2年生	72	59	37	109	40	124	471	17	21	4	60	17	209	1,240
	9.0%	7.4%	4.6%	13.7%	5.0%	15.6%	59.1%	2.1%	2.6%	0.5%	7.5%	2.1%	26.2%	-
高校2年生	24	16	20	15	8	15	136	7	1	2	62	17	115	438
	7.6%	5.1%	6.3%	4.8%	2.5%	4.8%	43.2%	2.2%	0.3%	0.6%	19.7%	5.4%	36.5%	-
合計	189	138	111	336	93	304	930	44	46	17	165	50	568	2,991
	10.0%	7.3%	5.9%	17.7%	4.9%	16.0%	49.0%	2.3%	2.4%	0.9%	8.7%	2.6%	29.9%	-

【小5・中2・高2 家族形態別】(複数回答)



子どもについての悩みを相談する相手

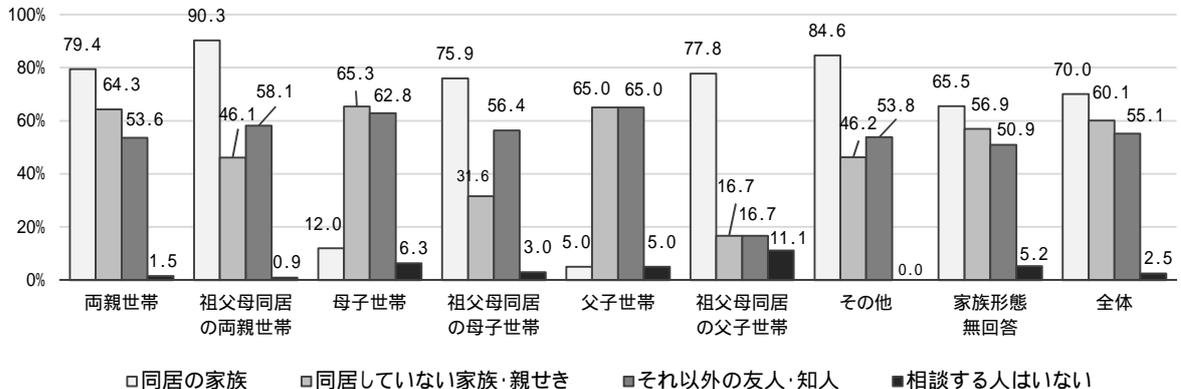
子どもについての悩みを相談する相手は、「同居の家族」が70.0%、次に「同居していない家族・親せき」が60.1%、「知人・友人」が55.1%となっています。

家族形態別では、母子世帯は「同居の家族」が12.0%、「相談する人はいない」が6.3%となっています。

複数回答 (単位:人,%)

区分	同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	その他	相談する人はいない	合計
5歳	378	359	171	48	309	245	18	45	5	9	1,587
	74.6%	70.8%	33.7%	9.5%	60.9%	48.3%	3.6%	8.9%	1.0%	1.8%	-
小学5年生	554	493	268	51	431	164	14	46	13	21	2,055
	70.6%	62.8%	34.1%	6.5%	54.9%	20.9%	1.8%	5.9%	1.7%	2.7%	-
中学2年生	552	433	284	51	426	132	13	36	12	17	1,956
	69.3%	54.3%	35.6%	6.4%	53.5%	16.6%	1.6%	4.5%	1.5%	2.1%	-
高校2年生	200	161	96	8	158	47	4	6	4	12	696
	63.5%	51.1%	30.5%	2.5%	50.2%	14.9%	1.3%	1.9%	1.3%	3.8%	-
合計	1,684	1,446	819	158	1,324	588	49	133	34	59	6,294
	70.0%	60.1%	34.1%	6.6%	55.1%	24.5%	2.0%	5.5%	1.4%	2.5%	-

【家族形態別】(複数回答)



保護者の悩みごとの相談相手

保護者の悩みを相談する相手は、全体では「同居の家族」が61.3%、次に「友人・知人」が57.4%となっています。

家族形態別では、両親世帯は、「同居の家族」が71.0%、「同居していない家族・親せき」が58.5%、母子世帯は、「友人・知人」が65.3%、「同居していない家族・親せき」が57.7%となっています。

複数回答（単位：人、%）

区分	同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	その他	相談する人はいない	合計
5歳	357	319	159	19	313	10	3	15	3	23	1,221
	70.4%	62.9%	31.4%	3.7%	61.7%	2.0%	0.6%	3.0%	0.6%	4.5%	-
小学5年生	478	444	248	36	452	11	3	15	8	31	1,726
	60.9%	56.6%	31.6%	4.6%	57.6%	1.4%	0.4%	1.9%	1.0%	3.9%	-
中学2年生	457	415	266	35	441	10	6	16	7	43	1,696
	57.3%	52.1%	33.4%	4.4%	55.3%	1.3%	0.8%	2.0%	0.9%	5.4%	-
高校2年生	181	138	95	6	175	1	2	5	4	18	625
	57.5%	43.8%	30.2%	1.9%	55.6%	0.3%	0.6%	1.6%	1.3%	5.7%	-
合計	1,473	1,316	768	96	1,381	32	14	51	22	115	5,268
	61.3%	54.7%	31.9%	4.0%	57.4%	1.3%	0.6%	2.1%	0.9%	4.8%	-

【家族形態別】（複数回答）

